

事業区分	文化芸術事業	育成事業		
事業名	高校演劇部のための演劇ワークショップ ①新入部員向けワークショップ ②ステップアップクリニック			
目的・内容	演劇人口の拡大、鳥取県の演劇界の活性化を目指し、高校演劇部部員対象の演劇ワークショップを行う。高校生が、主体的に演劇の創造に携わり、独自の感性で作品の創作・上演を行うことの喜びや充実感を得られ、実践的な部活動のノウハウを習得することを目的とする。これにより、次代を担う芸術文化活動者の育成と文化人口の拡大を狙う。 【使命】 多彩な人材育成とキャリア開発 【事業の柱】 幅広い人材育成の推進と意欲的な文化団体の支援 人材育成のための機会の提供と各種研修制度の充実			
開催日時	①平成19年5月12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日) ②7月25日(水)～27日(金)			
会場	鳥取県民文化会館、倉吉未来中心、米子市文化ホール、鳥取西高等学校、倉吉東高等学校、米子高等学校、米子東高等学校			
入場料・参加費 (友の会)	無料			
集客状況	入場者数	のべ 177名		
事業費状況	予算額	収入 0円	支出 762,000円	収支比率 0%
	決算額	収入 0円	支出 701,691円	収支比率 0%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強になった。初めて演劇について知った。 ・楽しかった。演劇を好きになった。 ・何を質問すればいいのかわからなかった。 ・もっと具体的に個人的な指導が受けたかった。 			
1次評価 (内部)	【成果】 ①新入部員ワークショップにおいては、「演劇の楽しさ」を中心に伝え、今後の演劇活動における基礎を培うことができた。 ②ステップアップでは、改善の打開策が見つけられない高校生に、専門家からのアドバイスを与える事により、問題解決に迫る道を示せた。 ③より独創的な演劇創造が進むだけでなく、将来の演劇活動者・鑑賞者を育成できた。 【課題】 ①広く県民に認知されるような進め方を検討する必要がある。 ②見学をする意味と目的を明確にする。 ③見学者募集の期間が短く、周知が不十分だった。			
2次評価 (財団評議員)	【成果】 ①学校現場での指導は良い考えだと思う。 ②生徒に対して講座を行いながら顧問に対しても間接的に伝える手法は評価できる。 【課題】 ①毎回現場との意思疎通を密にして継続していただきたい。 ②講師の方々は無理に学校毎に合わせた指導をする必要もないのではないか。 ③高校演劇の現場は顧問の先生方の理解度・熱意によってかなりの部分左右される実態があり、そのような格差にどのように対処できるのか難しい課題だと感じる。			
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇部顧問の方々の意見を聞き取る機会を設ける。 ・見学参加者に感想等を聞き、継続の有無を検討する。 ・見学者募集は、早い時期に確定した内容のみで周知を行い、全ての情報が確定した際に、再通知を行うなど、工夫をする。 ・高校演劇連盟との共催など、生徒の参加しやすい環境を整える。 ・顧問の先生方の理解度を上げていくためにも、地道に着実に今後も事業を継続していく。 			